

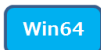


Maple ネットワーク版 インストール・アンインストール手順書

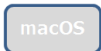
更新日 2025/03/06

はじめに

- ◆ この手順書は、Windows 64bit、macOS、Linux 版に対応しております。
- ◆ ネットワーク版のご利用には、別途ライセンスサーバの構築が必要です。
(Maple Network Tools のインストールガイドを参照ください。)
- ◆ この手順書の説明画面は、Windows 版のインストーラの画像を使用しています。
他の OS、バージョンでも一部を除き同様の画面がでますので、**適宜置き換えて**ご参照ください。
- ◆ 各 OS に対する必要な手順をアイコンで示しています。
アイコンの説明は以下の通りです。

 . . . Windows 64bit

 . . . Linux

 . . . macOS
- ◆ インストールに関する不明点や疑問点に関しては、技術サポートまでご連絡をお願いいたします。
https://jp.maplesoft.com/contact/webforms/support_JP.aspx

※当マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

インストールおよび設定手順書

◆ SECTION 1: Maple のインストール

◆ SECTION 2: コンパイラの設定（任意）

◆ SECTION 3: Maple のアンインストール

※Windows 64-bit マシンをご使用の場合は、Microsoft 社が提供する Microsoft Visual C++ コンパイラをご利用頂けます。

ご利用にならない場合は、SECTION 1 でインストールおよび設定が完了いたします。

MapleSim でコンパイルの機能をご利用する場合は、SECTION 2 を行ってください。

◆ SECTION1: Maple のインストール

（以下 **** には Maple のバージョン名が入ります。）

Win64

1. インストーラの実行ファイルを右クリックし、**[管理者として実行]** を選択して起動します。

- Windows 64-bit 版インストーラ実行ファイル . . . **Maple****WindowsX64Installer.exe**

（※インストーラは日本語版・英語版共に共通です。）

- バージョン2021以前 . . . Maple****WindowsX64Installer_ja.exe

（※インストーラは日本語版です。）

※一部のバージョンでは、インストーラが ZIP ファイルで配布されています。この場合は、まずインストーラの ZIP ファイルを解凍します。次に、解凍されたインストーラの実行ファイルを右クリックし、**[管理者として実行]** を選択して起動します。

- Windows 64-bit 版インストーラ（ZIP） . . . **Maple****WindowsX64Installer.zip**

- インストーラ実行ファイル . . . **setup-windows.exe**

Linux

1. インストーラを実行します。ターミナルで実行するコマンドは以下を参照ください。

- Linux 64-bit 版インストーラ . . . **Maple****LinuxX64Installer.run**

```
chmod +x Maple****LinuxX64Installer.run
```

```
./Maple****LinuxX64Installer.run
```

macOS

1. インストーラを実行します。

- macOS 版インストーラ . . . **Maple****MacInstaller.dmg**

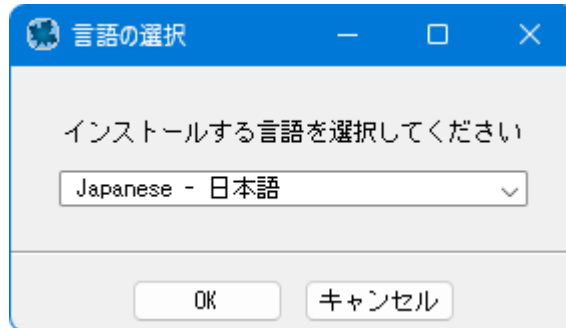
（※インストーラは日本語版・英語版共に共通です。）



Win64

macOS

2. インストーラが起動したら、言語を選んで、[OK] をクリックしてください。





Win64

Linux

macOS

3. [Maple - セットアップ] 画面が表示されましたら、[次へ] をクリックしてください。

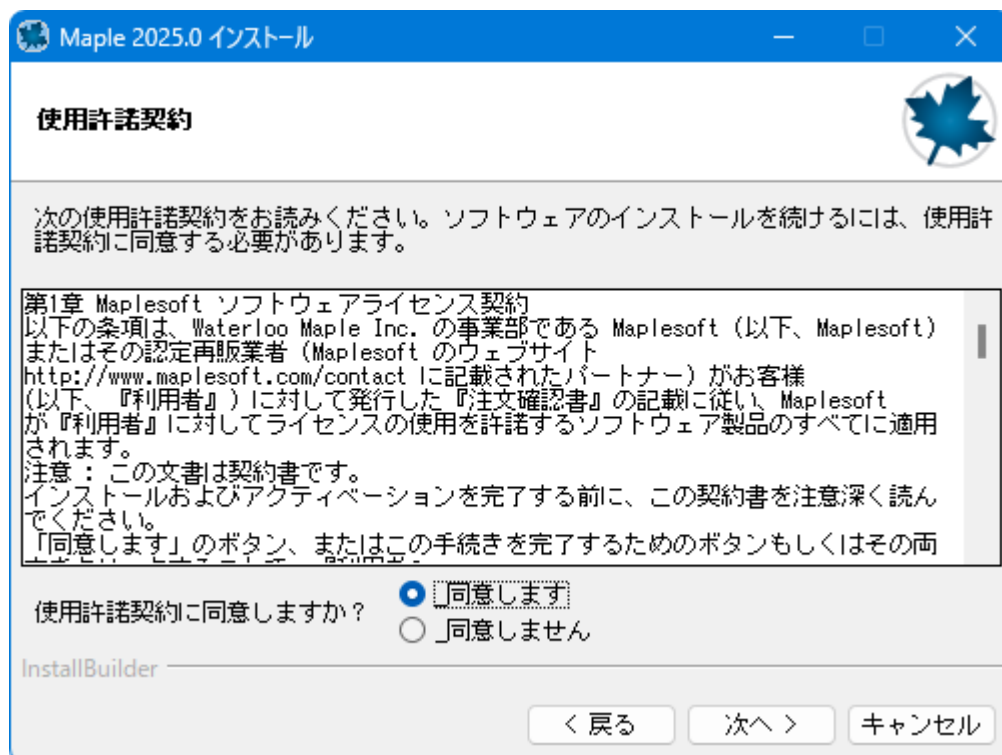


Win64

Linux

macOS

4. 使用許諾契約をお読みいただき、[同意します] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

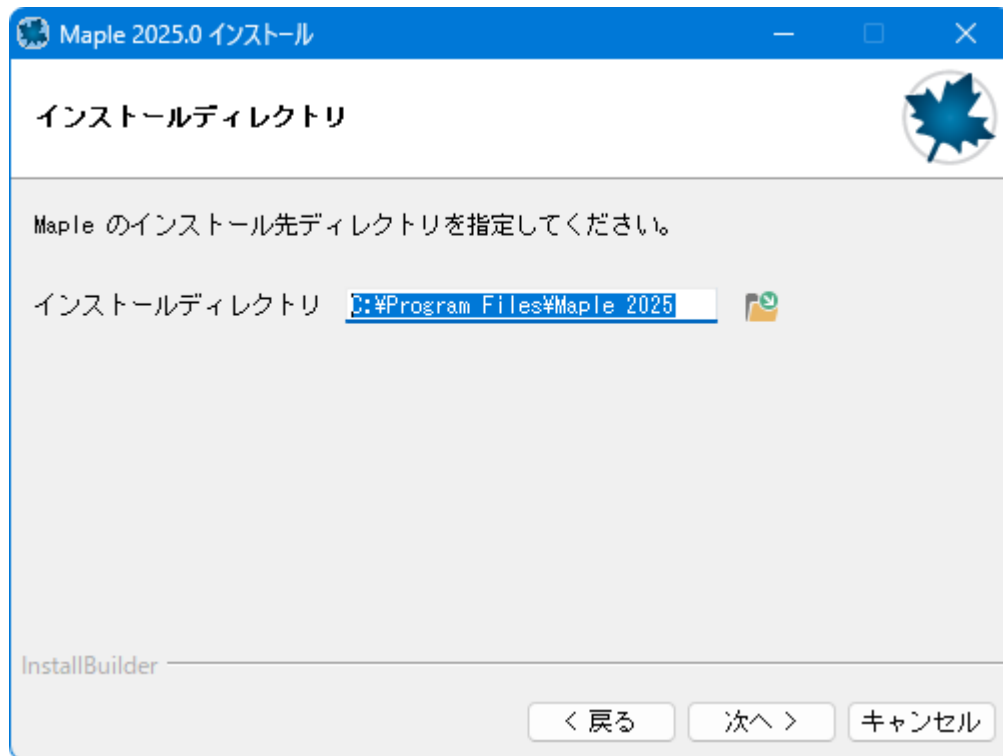


Win64

Linux

5. インストールディレクトリを指定し、[次へ] をクリックしてください。

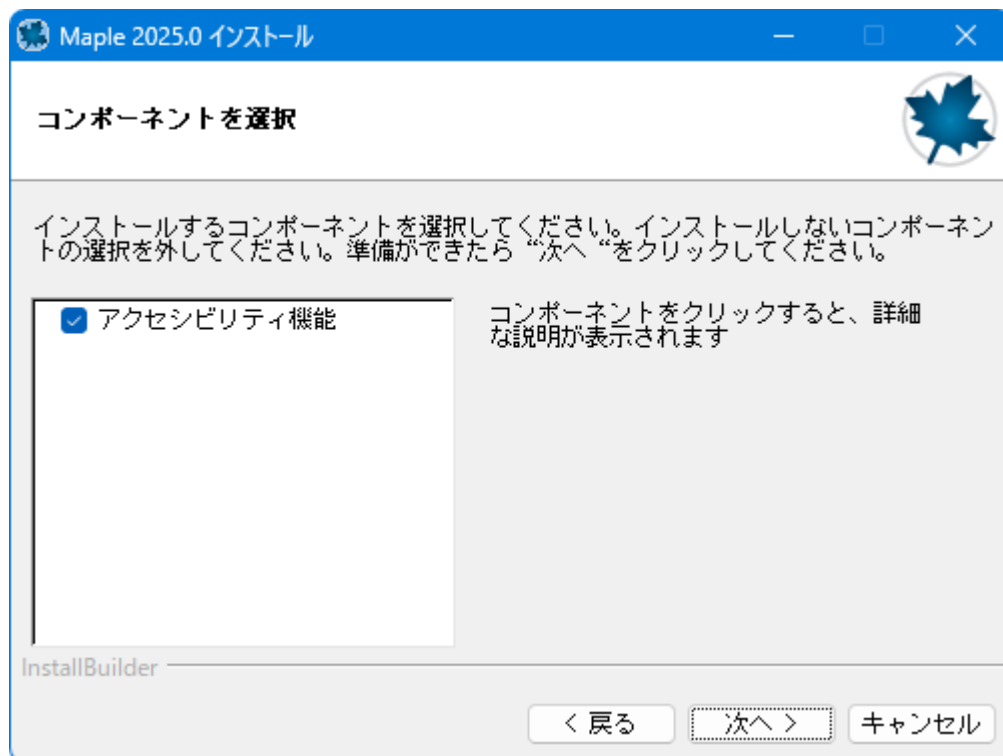
※macOS では、インストールディレクトリを指定できません。



Win64

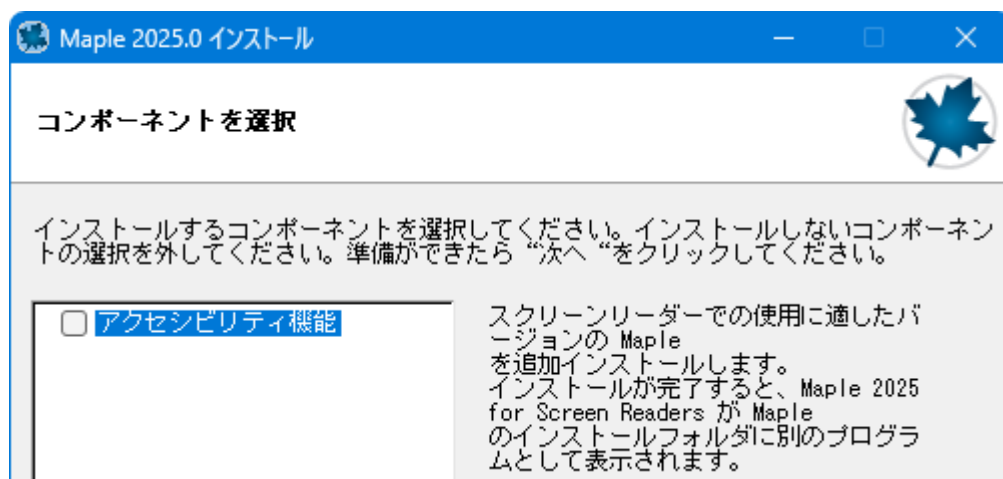
6. ※Windows 版 Maple 2025 以降のみ

スクリーンリーダー（画面読み上げ機能）を利用する場合は、Maple for Screen Readers のインストールが必要です。デフォルトではインストールする設定となっています。インストールしない場合はチェックを外します。インストールの有無の設定が完了したら、[次へ] をクリックしてください。



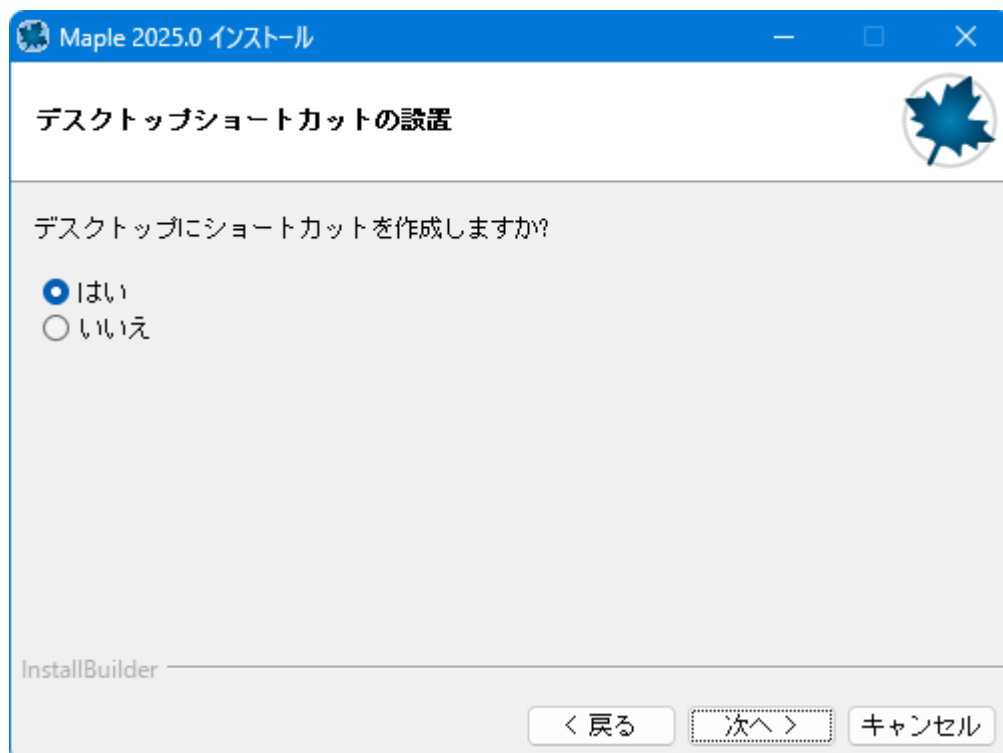
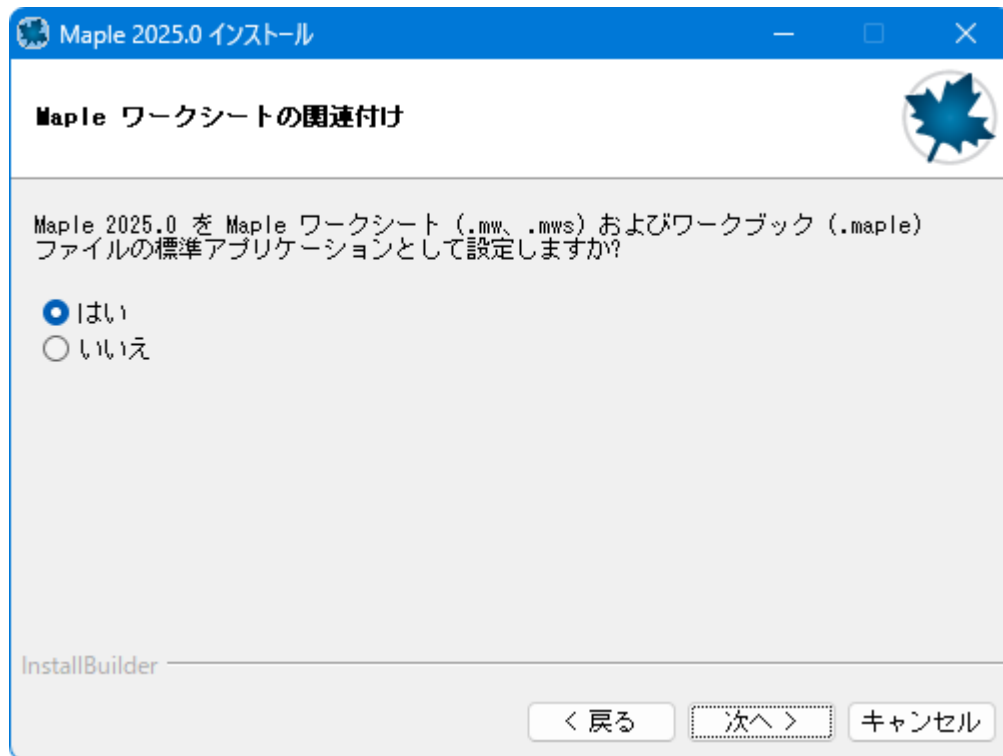
インストールが不要な場合は、「アクセシビリティ機能」の左のチェックを外します。

Maple のインストーラを使用して、あとで追加インストールまたはアンインストールが可能です。



[Win64](#)[Linux](#)

7. Maple ワークシートの関連付けをするかどうか、デスクトップにショートカットを設置するかどうかを選択し、
[次へ] をクリックしてください。



Win64

Linux

macOS

8. MATLAB がインストールされている場合に表示されます。

Maple Toolbox をご利用にならない場合は、[MATLAB の設定] をチェックせずに、[次へ] をクリックしてください。

※**MATLAB の Symbolic Math Toolbox** をお使いになる場合は設定をせずに次の手順に進んでください。

Maple Toolbox をご利用になる場合は、[MATLAB の設定] をチェックし、検知された MATLAB の一覧から、サポートされている MATLAB を選択し、[次へ] をクリックしてください。

一覧にない場合は、[その他] を選択し、MATLAB のインストールディレクトリを指定してください。

※Maple Toolbox は Maple と MATLAB の双方向のリンク機能を実現するためのツールボックスです。

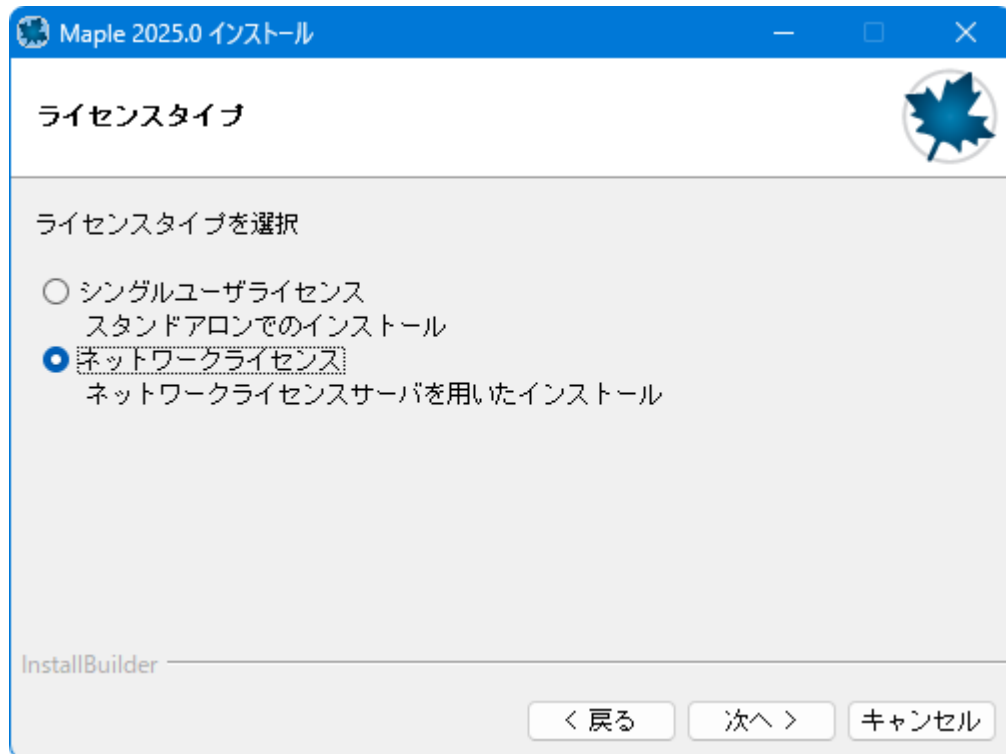


Win64

Linux

macOS

9. インストールするライセンスタイプ [ネットワークライセンス] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

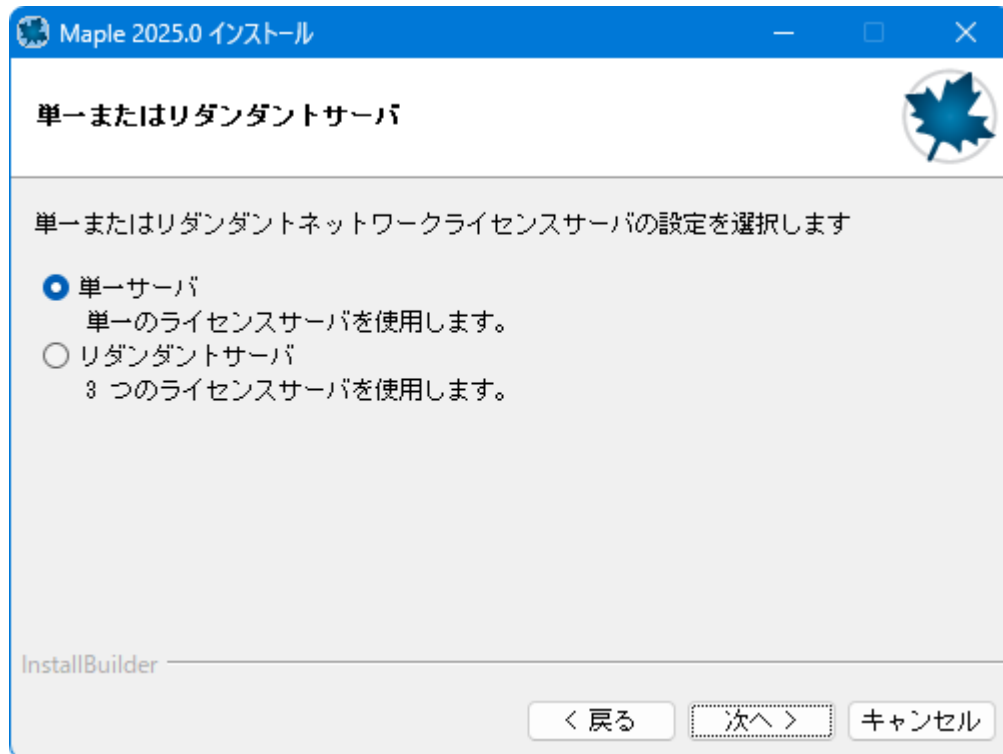


Win64

Linux

macOS

10. ライセンスサーバ側の構成を選択し、[次へ] をクリックしてください。



Win64

Linux

macOS

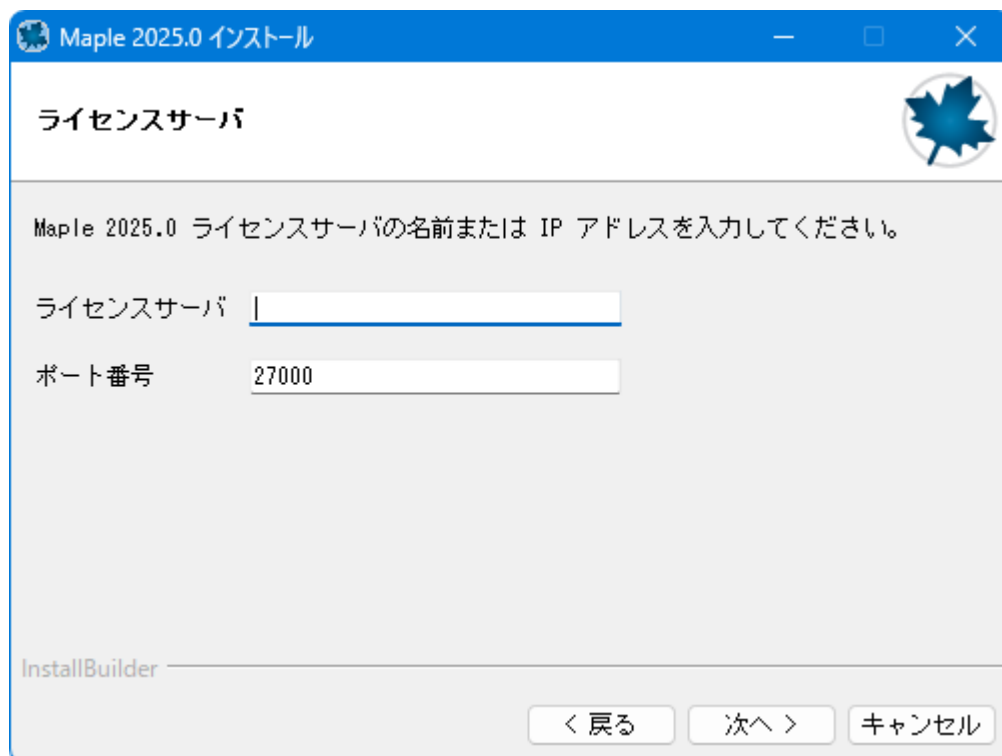
11. [10.] で [単一サーバ] を選択した場合は、ライセンスサーバ名とポート番号を入力し、[次へ] をクリックしてください。

ライセンスサーバ名の指定には、サーバマシンの ホスト名 または IP アドレス が使用可能です(※)。

ポート番号は、デフォルトで 27000 になっておりますが、環境に応じて適宜変更することができます。

空いているポート番号をご確認ください。

※ライセンスサーバ側の記述情報と一致するように入力してください。



Maple 2025.0 インストール

ライセンスサーバ

Maple 2025.0 ライセンスサーバの名前または IP アドレスを入力してください。

ライセンスサーバ

ポート番号

InstallBuilder

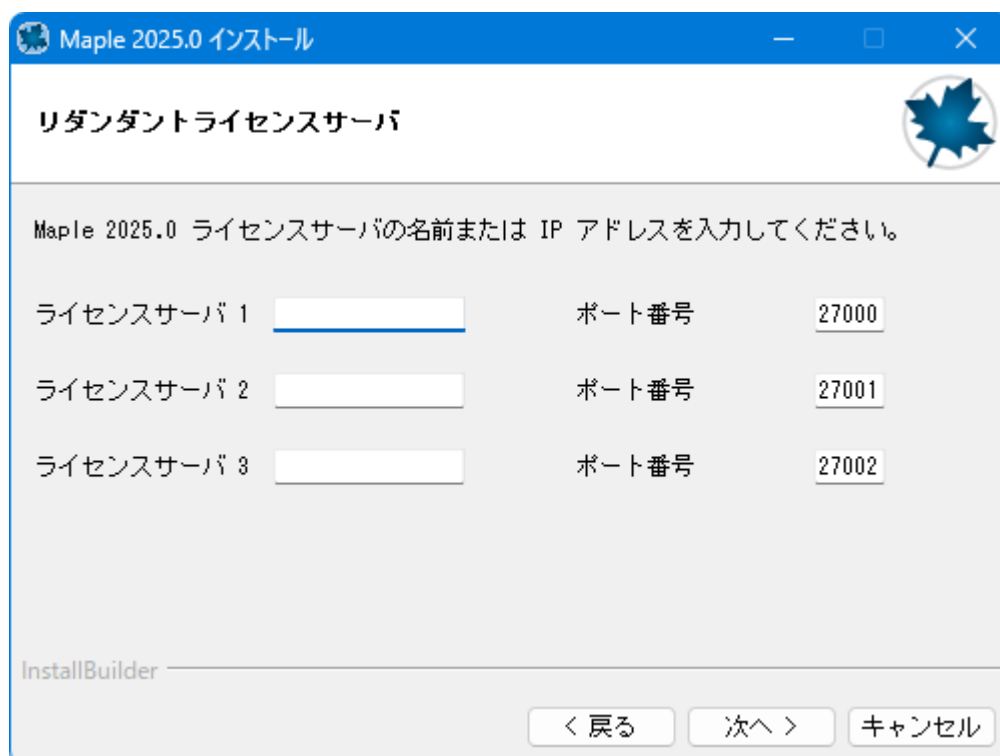
< 戻る 次へ > キャンセル

Win64

Linux

macOS

12. [10.] で [リダンダントサーバ] を選択した場合は、それぞれのライセンスサーバ名とポート番号を入力し、[次へ] をクリックしてください。ライセンスサーバ名の指定には、サーバマシンの ホスト名 または IP アドレス が使用可能です(※)。各ポート番号は、デフォルトで 27000、27001、27002 になっておりますが、環境に応じて適宜変更することができます。空いているポート番号をご確認ください。
- ※ライセンスサーバ側の記述の情報と一致するように入力してください。



Maple 2025.0 インストール

リダンダントライセンスサーバ

Maple 2025.0 ライセンスサーバの名前または IP アドレスを入力してください。

ライセンスサーバ 1		ポート番号	27000
ライセンスサーバ 2		ポート番号	27001
ライセンスサーバ 3		ポート番号	27002

InstallBuilder

< 戻る 次へ > キャンセル

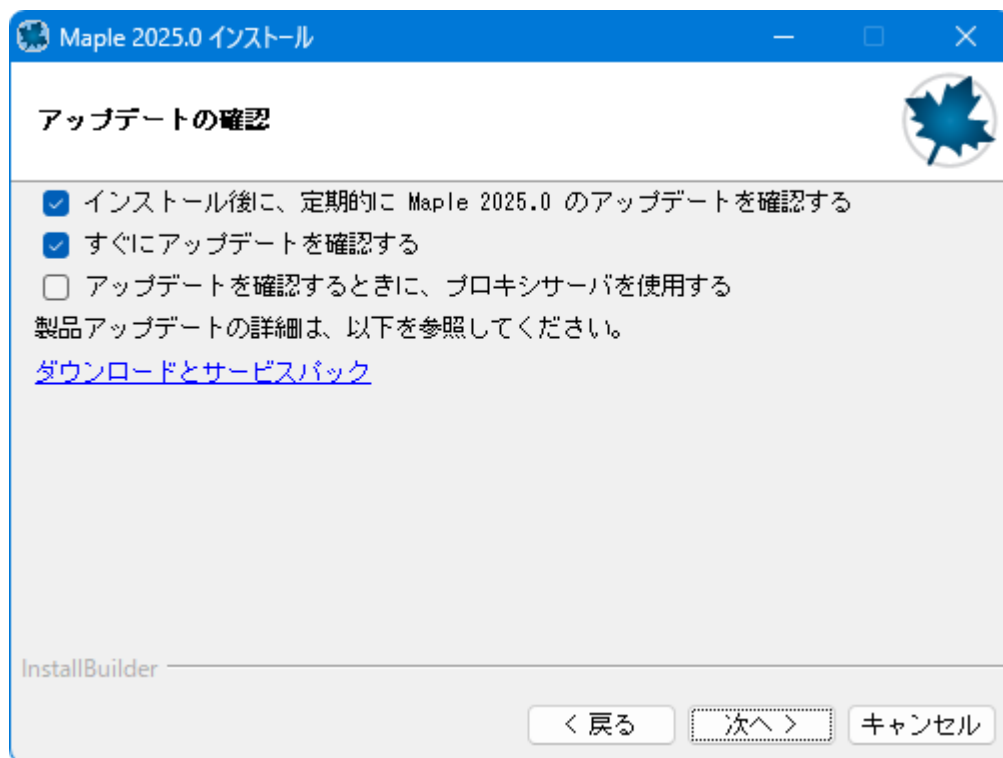
Win64

Linux

macOS

13. アップデートの確認を選択し、[次へ] をクリックしてください。インターネットの接続でプロキシサーバを経由している場合は、
[アップデートを確認するときに、プロキシサーバを使用する] をチェックしてください。

(※アップデートの確認設定は任意です。不要な場合はチェックを外してください。)

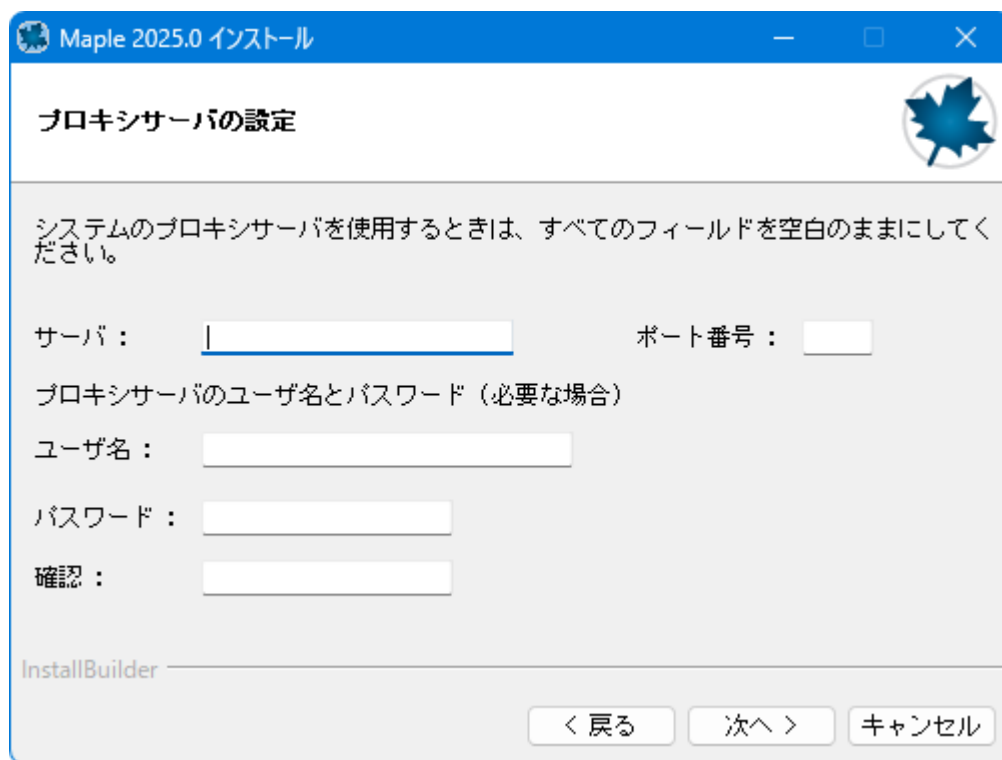


Win64

Linux

macOS

14. [13.] で [アップデートを確認するときに、プロキシサーバを使用する] をチェックした場合は、プロキシ情報を入力してください。必要項目に入力ができたら、[次へ] をクリックしてください。



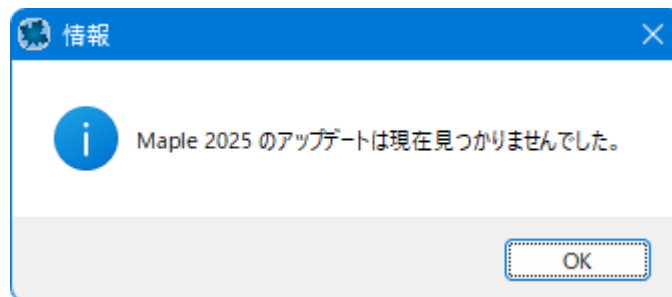
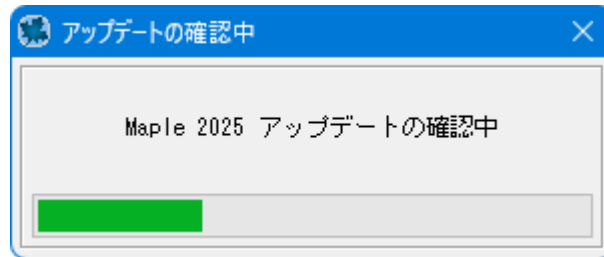
The screenshot shows the 'Maple 2025.0 インストール' (Maple 2025.0 Installation) window. The title bar is blue with the Maple logo and window controls. The main content area is titled 'プロキシサーバの設定' (Proxy Server Settings). Below the title, there is a message: 'システムのプロキシサーバを使用するときは、すべてのフィールドを空白のままにしてください。' (When using the system's proxy server, please leave all fields blank). There are four input fields: 'サーバ:' (Server), 'ポート番号:' (Port number), 'ユーザ名:' (Username), and 'パスワード:' (Password). Below these fields is a label '確認:' (Confirm). At the bottom of the window, there are three buttons: '< 戻る' (Back), '次へ >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ >' button is highlighted.

Win64

Linux

macOS

15. [13.] で [すぐにアップデートを確認する] をチェックした場合は、結果を確認し、[OK] をクリックしてください。



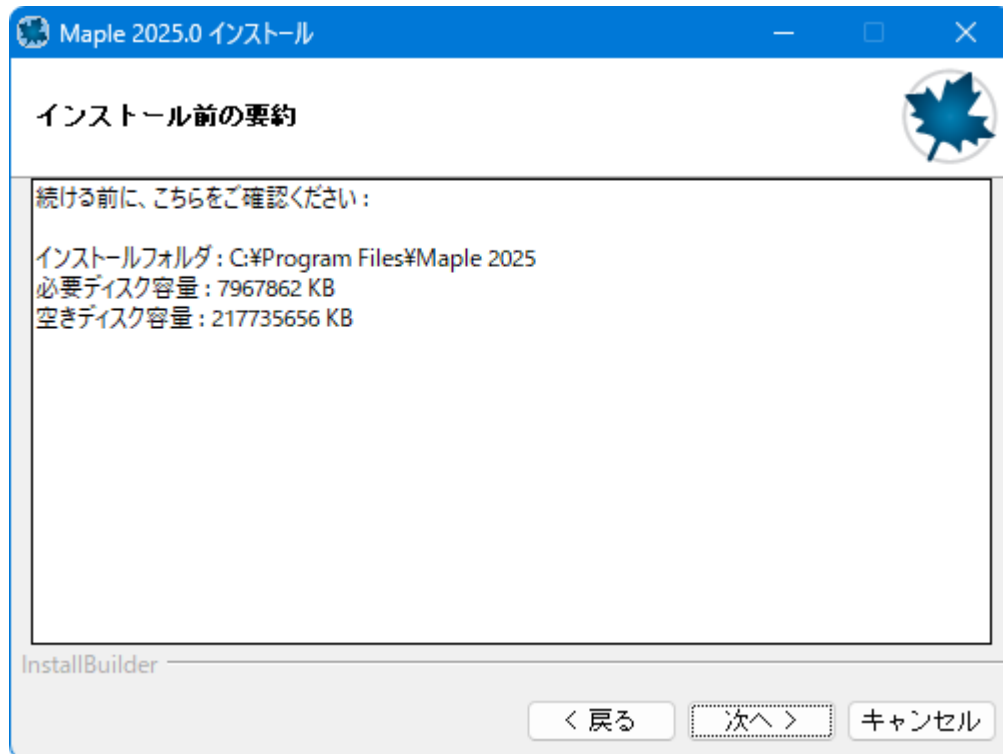
アップデートが無い場合は上記のメッセージが表示されます。

Win64

Linux

macOS

16. インストール前の要約を確認し、[次へ] をクリックしてください。インストールが開始されます。



[Win64](#)[Linux](#)[macOS](#)

17. インストールが完了しましたら、[終了] をクリックしてください。

[Win64](#)[Linux](#)[macOS](#)

18. 以上で Maple ネットワーク版のインストール作業は完了です。

[Win64](#)

Windows 64-bit マシンをご使用の場合は、Microsoft 社が提供する Microsoft Visual C++ のコンパイル機能をご利用頂けます。ご利用にならない場合は、以上でインストールおよび設定が完了いたします。

MapleSim で外部コンパイラをご利用になる場合は、SECTION 2 の設定を行ってください。

MapleSim 2022 以前でアドオン製品

- ・ MapleSim Connector for FMI

をお使いいただくには、Microsoft Visual C++ のコンパイラのインストールが必要です。

◆ SECTION 2: コンパイラの設定 (任意)

Win64

外部コンパイラ (Microsoft Visual C++ コンパイラ) が必要となるのは以下の場合です。

- ・ Maple / MapleSim のコンパイラとして**外部コンパイラの使用**を希望する場合
- ・ **MapleSim 2022 以前**で以下のアドオン製品を利用する場合
 - **MapleSim Connector for FMI**

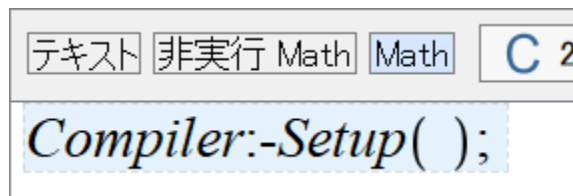
Maple 2023 より、Maple に同梱されるコンパイラで DLL の作成が可能となり、FMU の作成において外部コンパイラのインストールが必須ではなくなりました。従来同様に、外部コンパイラを利用して FMU の生成を希望される場合は、外部コンパイラのインストールと設定を行ってください。

以下では、Microsoft Visual Studio 2019 以降の Community / Professional / Enterprise エディション、BuildTools、または、Microsoft Visual Studio Express 2017 for Windows Desktop を利用する場合について説明しています。

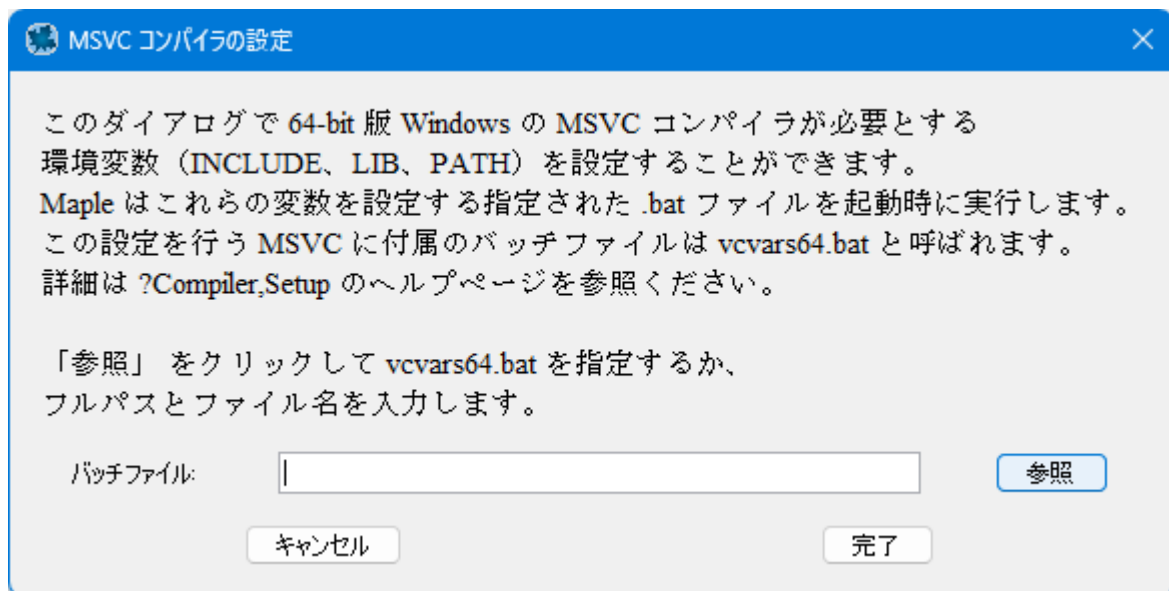
(※Microsoft 社のライセンス規約に準拠してコンパイラのご利用が可能かどうかは、ユーザーご自身でご確認ください。)

1. Maple を「管理者として実行」で起動してください。
2. Maple の新規ドキュメント、もしくはワークシートにて、下記コマンドを実行してください。

Compiler:-Setup();



3. 表示されるダイアログの [参照] ボタンを押して、コンパイラのバッチファイルを指定します。



バッチファイル指定後に、[完了] ボタンをクリックしてください。

バッチファイルの格納場所の例：

Visual Studio 2022 (エディション：Community、Professional、Enterprise、BuildTools)：

C:\Program Files\Microsoft Visual Studio\2022\エディション\VC\Auxiliary\Build\vcvars64.bat

Visual Studio 2019 (エディション：Community、Professional、Enterprise、BuildTools)：

C:\Program Files (x86)\Microsoft Visual Studio\2019\エディション\VC\Auxiliary\Build\vcvars64.bat

Visual Studio Express 2017 (32 ビット x86 ネイティブクロスツール、64 ビット x64 コードビルド)：

C:\Program Files (x86)\Microsoft Visual Studio\2017\WDEExpress\VC\Auxiliary\Build\vcvarsx86_amd64.bat

4. Maple 上に選択したパスが返されます。
5. 以上でコンパイラの設定が完了します。Maple を終了してください。

◆ SECTION 3: Maple のアンインストール

Win64

Linux

macOS

1. Maple のインストール先の uninstall フォルダにある uninstall 実行ファイルをダブルクリックし、アンインストーラを起動してください。デフォルトでは、以下のファイルになります。（****はバージョン名。）

Windows 版 . . . C:\Program Files\Maple ****\uninstall\uninstall.exe

Linux 版 . . . /home/\$USERS/maple****/uninstall/uninstall.exe

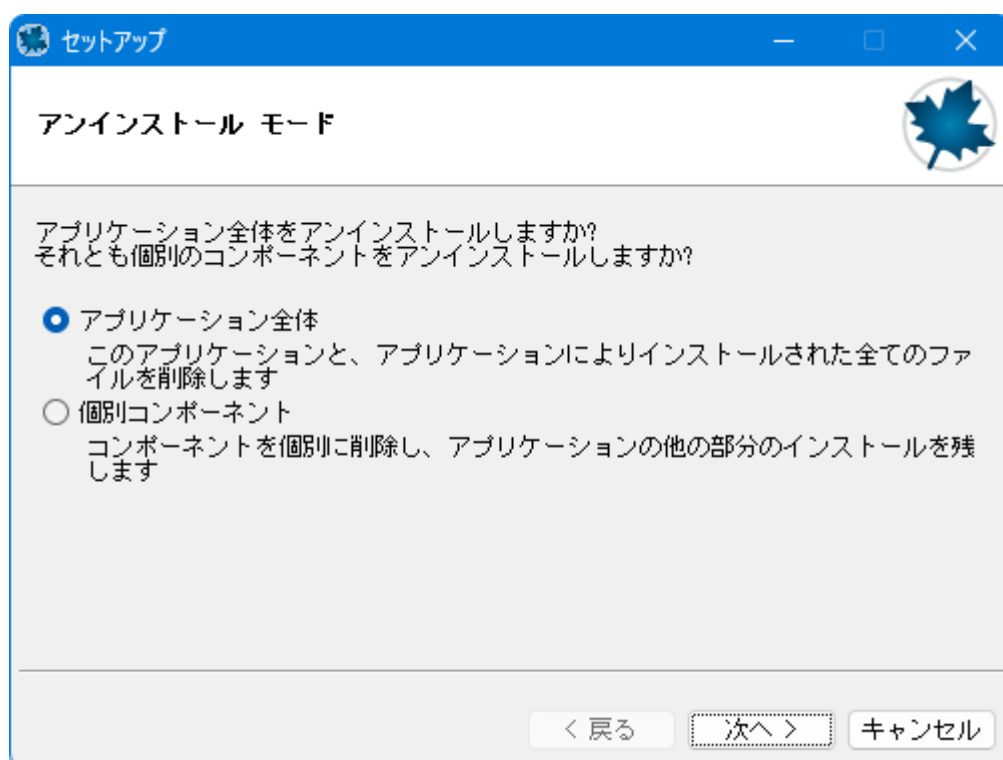
(※\$USERS には、ユーザ名が入ります。)

macOS 版 . . . /Library/Frameworks/Maple.framework/Versions/****/uninstall/uninstall.app

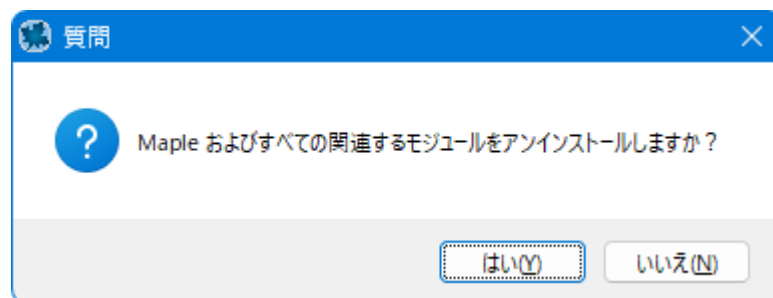
2. アンインストーラが起動しましたら、画面の指示に従いアンインストールを進めます。

Windows 版 Maple 2025.0 以降は以下の画面が表示されます。

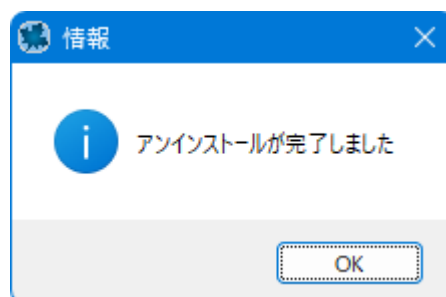
Maple の「アプリケーション全体」をアンインストールするか、アクセシビリティ機能（インストールしている場合）のみをアンインストールするか（「個別コンポーネント」）を選択します。



それ以外のバージョンでは以下の画面が表示されるので、[はい] をクリックしてください。



3. アンインストールが正常に完了すると、次の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。



4. 以上でアンインストールが完了します。

※アンインストールを完了させるために、コンピュータの再起動が求められる場合がございます。